

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

### ②施設・事業所情報

名称： 京急キッズランド金沢文庫保育園	種別： 認可保育園
代表者氏名： 園長 藤原 玲子	定員（利用人数）： 60（48）名
所在地： 236-0016 神奈川県横浜市金沢区谷津町384 金沢文庫京急第2ビル	
TEL： 045-783-9979	ホームページ： <a href="https://www.keikyukids.com/nursery/kanazawabunko.html">https://www.keikyukids.com/nursery/kanazawabunko.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日	2005年4月1日
経営法人・設置主体（法人名等）：	京急サービス株式会社
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員： 9名
専門職員	保育士 19名 栄養士 1名
	看護師 0名 調理員 3名
	事務員 1名
施設・設備の概要	居室数： 保育室4室・調理室 事務室・多目的室 設備等： 園庭・シャワー室

### ③理念・基本方針

- \* 保育理念 …… 『家庭的な雰囲気の中で“こころ” “からだ” “えがお” を育てる』
- \* 保育方針 …… 『保育園と家庭と地域の協働』

#### 1.子どもの健やかな育成

- ・日本の文化・伝統に親しめるよう保育をします。
- ・やさしさと思いやりの心を育てるよう保育をします。
- ・基本的な生活習慣が身につくよう保育をします。
- ・健康なからだがつくれるよう保育をします。
- ・自然に触れ、四季の移り変わりを感ぜられるよう保育をします。

#### 2.保護者の就労を支援

- ・お子さまの日中の様子がわかるよう「見える」保育をします。
- ・子育てについてのご相談・ご要望などにお応えします。
- ・お子さまの成長発達の状態をお知らせします。

#### 3.地域との連携

- ・関係機関と連携をとり、より良い環境づくりを行います。
- ・園の情報を発信し地域と一体となった子育て支援を行います。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

当園は保育理念「家庭的な雰囲気の中でこころ、からだ、えがおを育てる」の基、子ども一人ひとりを尊重した保育に努めています。子どもの手の届く場所に年齢に合わせた玩具や絵本などを設置し、可動式のサークルを利用してコーナーをつくるなど、子どもの興味関心に合わせて遊び込める環境を整えています。保育室にはお菓子や果物などの手作り玩具が豊富にあるほか、リズム遊び、マット、平均台や小麦粉粘土、氷、寒天、包装用のプチプチなどを利用した感覚遊びなど、静と動の活動をバランスよく取り入れています。

また、保育方針「保育園と家庭と地域の協働」を基に、地域の親子が排泄・おむつ交換・授乳などで園に気軽に立ち寄れる金沢区「あかちゃんの駅」の登録や、乳児の親子を対象とした「離乳食を食べよう」の開催、近隣商業施設への出張保育を実施するなど、保育所のもつ専門性を生かしながら地域に向けてさまざまな取り組みを行っています。

食育活動では園庭で野菜を栽培したり、実際に旬の食材に触れてみたり、子どもたちが楽しみながら食に興味をもてるよう工夫をしています。戸外活動にも力を入れ、天気の良い日は園庭や散歩、公園で身体をたくさん動かします。虫や草花にも触れ、四季を感じながら子どもたちは伸び伸びと過ごしています。これらの活動は毎月のクラスだよりや給食だよりなどで保護者にも情報を共有し、家庭と連携した保育を実践しています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年5月8日 (契約日) ~ 2023年10月2日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	3 回 ( 2018 年度)

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

##### ◆不適切保育をテーマに園内研修を実施し、保育の質の向上に繋げています

職員は子どもの基本的な人権について、入職時の本社研修や園内研修、金沢区主催の研修にも積極的に参加し理解を深めています。不適切保育の防止については日ごろから十分注意を払っていますが、昨今の虐待に関するニュースや保育中の言葉かけについて、園全体で再度振り返りが必要と考え、「不適切保育」をテーマに掲げ、1年間園内研修を実践しています。「未然に防ぐためにはどうしたらよいか」などを毎月の職員会議でベテラン、新人の職員が交わりながらグループワークを行い、声かけの仕方などについて話し合う機会を設けています。また、園長も人権に関する書籍を自ら購入し、職員にわかりやすく説明できるよう準備を進めています。

##### ◆様々な食育活動を保護者にも情報共有しながら実践しています

子どもが楽しみながら食に興味をもてるよう、食育活動に取り組んでいます。園庭では野菜の栽培のほか、1、2歳児はとうもろこしの皮むきや野菜スタンプ作り、3～5歳児は包丁やピーラーを使用して野菜スープやサラダを作るなどクッキング活動を行っています。保護者とも連携をとり、毎月給食だよりで知らせるほか、おやつだよりや家庭でも作れるレシピ、ドキュメンテーションなどをわかりやすく写真も交えて園内に掲示しています。今年度から保護者が園内に入れるようになったため、クラス担任だけでなく栄養士や調理師も保護者と接する機会が徐々に増え、試食会なども行い保護者の声を直接聞く機会を増やせるよう工夫しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

5年に一度の第三者評価を受審しましたが、お忙しい中、保護者の方にはアンケートのご協力をありがとうございました。新型コロナウイルス感染の流行により、行事・保育の内容もがらりと変わりましたが、その中で続けられるもの、変化しながら行えるものを考え、本園の理念に沿って、子どもの最善の利益を考え行ってきた事の評価をいただきました。

対外的な事は少なくなりましたが、その中で工夫をして行った事をお話しし、保育室の中を見ていただき良い評価をしていただきました。ありがとうございました。

また、今年度より新型コロナウイルス感染症が5類となり、行事を工夫しながら保護者の方が多数参加できるようになったり、中止していた事を再開したりしていきたいと思えます。

引き続き「子どもの最善の利益」を考えて、子どもの人権を守りながら保育をしていきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり